

スポーツウエルネス学部教育課程編成の方針

教育課程の編成と特色

スポーツウエルネス学部の教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「スポーツウエルネス学入門」、「スポーツマンシップ論」、「スポーツリーダーシップ論」、「基礎演習(学びの技法含む)」、「学びの精神」、言語教育科目で構成し、形成期、完成期における学修の基礎を醸成する。なお、NEXUSプログラムでは、標準0.5年間[1学期間]の日本語集中履修期間に加え、言語Aおよび言語Bにおける日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は、引き続き専門基礎科目の履修を通じて基礎的な学修の完成を目指すと同時に、専門基幹科目や専門英語科目を履修することによって、スポーツウエルネス学部の専門教育に必要な基本的知識を身につける。さらに倫理観やスポーツウエルネス学に関する学びを通して、社会における多様な問題に興味を持ち、自らテーマを設定して真理を探究することを目的として主体的・創造的に調査・研究を行う能力を身につける。
- ・完成期は、専門展開科目の履修を通じて、スポーツウエルネス学固有の領域に関して高度で専門的、個別的な内容を学修し、4年間の学修の集大成である卒業研究を仕上げる。さらに課題解決能力を身につけ、社会での活躍を目指す。